

氏名	柴田 亜希	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	公衆衛生看護学				
学位	博士（公衆衛生学）				
学歴	帝京大学大学院公衆衛生学研究科博士後期課程				
経歴	2021年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会 日本公衆衛生看護学会 日本地域看護学会 日本思春期学会 日本プライマリ・ケア連合学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	住民主体の通いの場における介護予防体操の活動継続支援の検討～活動システムモデルを概念枠組みとした質的研究～	共著	あり	日本プライマリ・ケア連合学会誌, 47 (1) 3-11	柴田亜希、武井ますみ、鈴木明日香、高橋謙造	2024.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	乳児を持つ父親の育児情報の活用に関する実態調査	共同	第70回小児保健協会学術集会、川崎市	○関美雪 石崎順子 柴田亜希 伊草綾香 寺内祐美 黒澤恭子 村松直美	2023.6	
2	乳児を持つ養育者のヘルスリテラシーの実態と心理的ストレスとの関連	共同	第26回日本地域看護学会学術集会、川崎市	○関美雪 柴田亜希 石崎順子 寺内祐美 伊草綾香 黒澤恭子 村松直美	2023.9	
3	Covid-19、流行下における映像学習教材を活用した地域・在宅看護学実習の試み	共同	第26回日本地域看護学会学術集会、川崎市	○黒澤恭子 柴田亜希 石崎順子 村松直美 服部真理子 関美雪	2023.9	
4	中高年向け運動教室の長期評価－参加群と対照群の8年間の累積死亡率の比較－	共同	第36回日本保健福祉学会学術集会、茨木市	○丹野祐美 延原弘章 関美雪 津野陽子 柴田亜希	2023.9	
5	KDBシステムデータを活用いた「元気モリモリ体操」の事業効果検証について	共同	第63回全国国保地域医療学会、福井市	○土井真理子 福島陽子 大島純代 新家美奈 枅谷里恵 黒沢美穂 柴田亜希	2023.10	
6	首都圏近郊部8市町村における妊娠37週未満の出産と妊産婦の就労状況	共同	第82回日本公衆衛生学会総会、つくば市	○佐藤玲子 関美雪 服部真理子 柴田亜希	2023.10	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成金（基盤研究C）	KDBデータベースシステム活用による経年的血糖値の変化の類型化と関連要因の検討	研究分担者	2022.4～2025.3		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成金（基盤研究C）	胎児性アルコールスペクトラム症候群予防のための女性飲酒教育プログラムの開発	研究分担者	2020.4～2025.3		
3	令和5年度厚生労働省老人保健健康増進等事業補助金 老人保健健康増進等事業	通いの場におけるフレイル予防の促進へ向けた効果的な手法に関する調査研究	ワーキンググループ	2023.4～2024.3		

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生看護展開論Ⅱ（精神保健）	○	8	地域における精神保健福祉の現状と課題、メンタルヘルス向上における公衆衛生看護活動の展開方法について講義を行った。
2	公衆衛生看護展開論Ⅲ（成人・高齢者保健）	○	8	成人・高齢期における保健医療福祉の現状と課題、生活習慣病等の健康課題解決に向けた公衆衛生看護活動の展開方法について講義を行った。
3	公衆衛生看護学		2	PDCAサイクルに基づく公衆衛生看護活動の展開について講義を行った。
4	地域看護学Ⅰ		1	健康な生活を支援するしくみと看護職の役割について、成人期、特に産業保健活動を中心に講義を行った。
5	広域看護学特論②（大学院）		4	PDCAサイクルに基づく保健医療福祉活動の展開について教授した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	地区診断論	○	15	健康課題を明確化するための理論や、社会資源の現状に関する講義と健康指標等のデータを用いた演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につなげる工夫をした。
2	公衆衛生看護技術Ⅰ		8	公衆衛生看護活動を行う上で基礎となる家庭訪問、健康相談などの対人援助技術の演習を行った。
3	公衆衛生看護技術Ⅱ		8	公衆衛生看護学実習において把握した健康課題を解決するために、集団を対象とした健康教育の企画立案、実施、評価過程の演習を実施した。
4	公衆衛生看護技術Ⅲ		8	公衆衛生看護学実習において把握した健康課題を解決するために、集団を対象とした健康教育の企画、実施、評価過程の演習を実施した。
5	地域看護学Ⅲ		6	在宅看護における看護の特徴と看護過程の展開方法について、事例を用いた演習を行った。
6	IPW演習		16	学生の主体的参加と気づきを尊重し、IPW実習の目的が達成されるよう支援した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生看護学実習	○	2023.5～2023.6	地域の健康課題とその解決に向けた公衆衛生看護活動の特徴や保健師の支援方法についての理解を深めることができるよう指導した。
2	地域看護学実習		2023.10～2023.12	訪問看護ステーションや地域包括支援センターにおける看護職の役割や、家族支援の理解を深めることができるよう学習支援を行った。
3	総合実習		2023.7	地域の健康課題解決を目指した保健事業の企画、実施、評価までの一連のプロセスの学習と公衆衛生看護活動における保健師の役割の考察を行った。
4	IPW実習		2023.10	IPW実習の目的に沿って、学生の主体的参加と気づきを尊重し、グループ活動が円滑に進むよう支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.5～2023.12	主指導 4名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	保健師就職支援	2023.5～2024.3	保健師就職志望学生への就職支援（就職相談、模擬面接等）	
2	春日部市立看護専門学校 非常勤講師	2023.4～2023.5	公衆衛生	

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	令和5年度埼玉県新任保健師研修	埼玉県	相談支援の基本とキャリアラダーを用いた活動の評価	2023.6 2023.12
2	令和5年度埼玉県草加保健所管内保健師現任教育研修	埼玉県草加保健所	地域診断に基づく効果的な保健活動の実施を目指した研修における講師を務めた	2023.6 2023.9 2024.1
3	令和5年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する研修	埼玉県国民健康保険団体連合会	一体的実施の効果的な取組みを目指した研修における講師を務めた	2023.12
4	オープンカレッジ講座 卒業生等支援講座「卒業生保健師勉強会」	埼玉県立大学	保健師としての知識やスキルアップを目指した勉強会を3回開催した。 1.ヤングケアラー ～ケアを担う子どもたち～ 2.セルフ・ネグレクトの理解と支援 3.地区活動に基づく保健活動の展開	2023.7 2023.10 2024.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	上尾市健康づくり推進協議会	委員		2022.7～現在
2	長瀬町「町民とつくる健康長寿プロジェクト」	オブザーバー		2023.6～現在
3	吉川市健康増進計画策定委員会	委員		2023.8～現在
4	全国保健師教育機関協議会北関東・甲信越ブロック	会計担当		2023.6～現在
5	全国保健師教育機関協議会秋季教員研修会	実行委員		2023.10
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	看護学科カリキュラム運営検討会		2023.4～2024.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス		2023.6～2024.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			